

## 『八戸市のMM教育の取り組みについて』

### 【八戸市 都市整備部 都市政策課】

八戸市では、平成 25 年度より交通政策を担当する都市政策課の路線バス利用促進事業の一環として、委託により学校向けの出前教室を開始しております。

当初は、学校側を始め、バス事業者も受け身であり前向きではありませんでしたが、継続的に実施して来たことにより、事業の浸透が図られ一度事業を実施した学校からは、リピーターとして事業の実施を求められることもできました。

しかし、リピーターとなる学校は限られていることや、予算の関係から事業の継続も危ぶまれる可能性があることから、抜本的に取り組みの仕方を見直し、学校授業の一環として公共交通を位置づけてもらうことを目指し、昨年度より公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団の助成を受け、教育委員会とともに3か年かけて検討をしていきます。

初年度となる昨年度は、プラットフォームづくりの年度と位置づけ、教育委員会の担当者とどのようにすれば公共交通が授業の一環として学校に根付くかを模索し、当市の教育委員会において、現場教諭が主体となって実施している「教科等研究委員制度」における“今日的課題研究課題”のテーマに位置づけ取り組むこととなりました。

この、「教科等研究委員制度」で取り組むことにより、2か年の継続事業となり、研究授業を実施することとなるため、多くの現場の先生方の目に触れることになり、実際の学校現場で実践されやすいと考えております。

2年目となる今年度からは、先生方とともにコンテンツ作りが始まります。当初は、学校現場で活用される副読本の作成を目指しておりましたが、この新型コロナウイルス禍の中で、当市でも GIGA スクールへの対応が加速しており、副読本ではなく動画や web コンテンツの作成も視野に入れて検討が始まっております。

現在は、2学期に実施予定の研究授業に向けて、実際のコンテンツ作りを先生方とスタートするところです。蓋を開けてみないと先生方との協働によるコンテンツ作りもどのように進むかわかりませんが、お互いに腹を割って、児童のためにもいいコンテンツ作りができればと考えております。

来年度まで実証を行いながら、実際に使われるコンテンツを作り、児童に公共交通の理解をしてもらいたいと思います。